

農林水産統計

STATISTICS OF AGRICULTURE, FORESTRY AND FISHERIES

平成19年8月30日公表

平成19年産水稻の8月15日現在における生育概況（九州）

— 早期水稻の作柄は、宮崎・鹿児島ともに「著しい不良」の見込み —

【調査結果の概要】

早期栽培水稻の作柄は、宮崎・鹿児島ともに日照不足及び台風第4号の影響により、「著しい不良」が見込まれます。

普通栽培水稻の生育は、長崎及び鹿児島は「平年並み」、福岡、佐賀、熊本、大分及び宮崎は「やや不良」で推移しています。

【解説】

1 早期栽培水稻（宮崎、鹿児島）

(1) 穂数は、分けつ期が、天候に恵まれて推移したことから、多くなりました。

(2) 全もみ数は、穂数は多くなったものの、1穂当たりもみ数が宮崎は「やや少ない」、鹿児島は「少ない」となったことから、両県ともに平年並みとなりました。

(3) 登熟は、出穂期以降の日照不足と台風第4号の影響により両県ともに不良となりました。

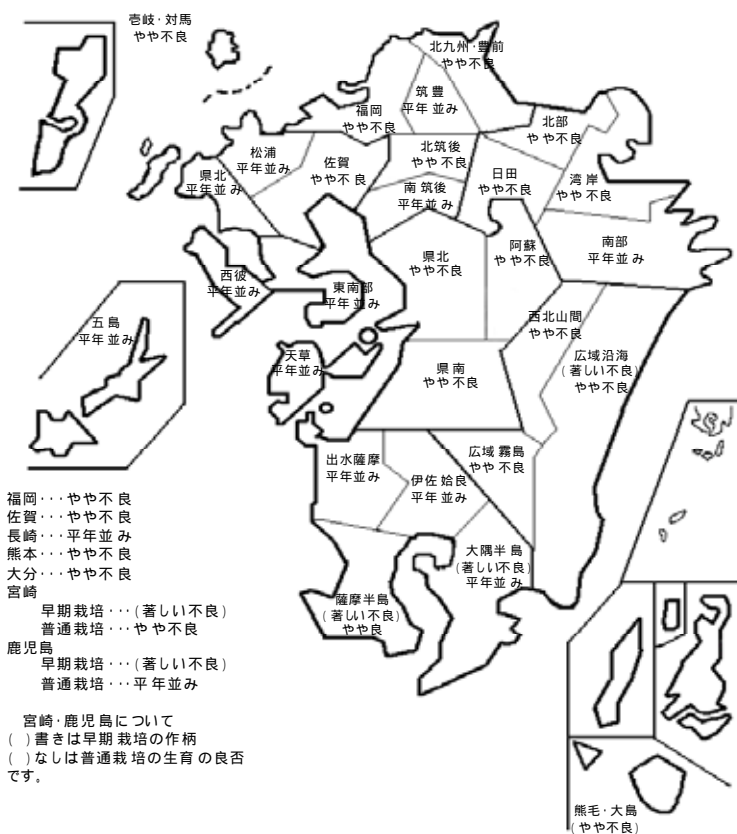
(4) 被害は、6月中旬からの日照不足、台風第4号及び台風第5号の影響により両県ともに多くなりました。

以上により作柄は、両県ともに「著しい不良」が見込まれます。

2 普通栽培水稻

生育は、6月から7月中旬の日照不足等の影響により、分けつが抑制され、「平年並み」ないし「やや不良」で推移しています。

図 県別地帯別生育概況（8月15日現在）



本統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。

【http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html】

この統計調査における調査目的、調査対象などの調査仕様は、【調査の仕様】4Pに掲載しています。

表1 早期栽培水稻の作柄概況 (8月15日現在)

区 分	作柄の良否	(平 年 比 較)					刈取済面積割合
		穂数の多少	1もみ数当りの多少	全もみ数の多少	登熟の良否	被害の多少	
宮 崎	著しい不良	多い	やや少ない	平年並み	不良	多い	99
広域沿海	著しい不良	多い	やや少ない	平年並み	不良	多い	99
鹿 児 島	著しい不良	多い	少ない	平年並み	不良	多い	93
薩摩半島	著しい不良	やや多い	少ない	やや少ない	平年並み	多い	99
大隅半島	著しい不良	多い	少ない	平年並み	不良	多い	91
熊毛・大島	やや不良	多い	やや少ない	やや多い	不良	やや多い	100

表2 普通栽培水稻の田植え及び出穂の状況 (8月15日現在)

区 分	田 植 期					出 穂 期					出穂済面積割合
	始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		始 期	最 盛 期	終 期	最盛期の比較		
				平年比較	前年比較				平年比較	前年比較	
福 岡	月日	月日	月日	日	日	月日	月日	月日	日	日	
福 岡	5.13	6.18	6.26	1日遅	1日早	8. 1	29
福岡	4.25	6.16	6.24	並み	並み	7.17	34
北九州・豊前	4.30	6. 4	6.24	1日遅	2日遅	7.30	8.13	...	2日遅	並み	56
筑 豊	4.22	6. 9	6.22	1日遅	2日早	7.12	8.11	...	1日早	3日早	64
北筑後	6. 4	6.21	6.28	並み	2日早	8.11	5
南筑後	6.14	6.22	6.27	2日遅	1日遅	2
佐 賀	4.30	6.22	6.30	3日遅	並み	7.18	17
佐 賀	5.27	6.23	6.30	2日遅	並み	8.10	10
松 浦	4.26	6.12	6.25	9日遅	3日遅	7.12	8.15	...	1日早	3日早	51
長 崎	4.20	6.12	6.26	2日遅	並み	7.15	18
西 彼	5.26	6. 3	6.17	1日遅	1日早	8.12	11
東南部	6. 9	6.23	6.29	並み	2日早	1
県 北	4.17	6. 8	6.23	3日遅	2日遅	7.17	23
五 島	4.11	6. 3	6.15	1日遅	並み	7. 8	44
壱岐・対馬	4.21	5.21	6.14	並み	1日早	7.13	46
熊 本	4.20	6.13	7. 2	2日遅	1日遅	7.10	22
県 北	6. 7	6.24	7. 2	3日遅	並み	2
阿 蘇	5.11	5.18	6. 3	3日遅	1日遅	7.30	8. 4	...	1日遅	1日早	81
県 南	5.12	6.18	7.21	2日遅	並み	7.31	9
天 草	4. 5	4.14	6.19	2日早	1日早	6.27	7. 7	...	1日早	2日早	80
大 分	5.13	6.11	6.25	1日遅	並み	7.30	23
北 部	5.20	6.16	6.28	1日遅	2日早	7.25	7
湾 岸	5.11	6.17	6.28	4日遅	2日遅	7.30	16
南 部	5. 5	6. 3	6.21	1日早	1日遅	8. 2	36
日 田	5.18	6. 2	6.17	4日遅	3日遅	8. 3	48
宮 崎	5.28	6.15	6.28	5日遅	2日遅	2
広域沿海	5.21	6.14	7. 2	3日遅	並み	4
広域霧島	6. 2	6.16	6.27	5日遅	1日遅	1
西北山間	5.14	6.10	6.24	8日遅	3日遅	3
鹿 児 島	6.12	6.19	6.29	1日遅	1日早
薩摩半島	6.10	6.19	6.28	並み	2日早
出水薩摩	6.13	6.20	6.30	1日遅	2日早	1
伊佐始良	6.11	6.18	6.28	1日遅	並み
大隅半島	6. 9	6.18	6.26	4日遅	並み

表3 普通栽培水稻の生育状況 (8月15日現在)

区 分	生育の良否	草丈の長短		茎数の多少
		(平 年 比 較)		
福 岡 福 岡 北九州・豊前 筑 豊 北筑後 南筑後	やや不良	短い	やや少ない	
	やや不良	短い	やや少ない	
	やや不良	短い	やや少ない	
	平年並み	平年並み	やや多い	
	やや不良	やや短い	やや少ない	
佐 賀 佐 賀 松 浦 長 崎 西 彼 東 南 部 部 県 北 五 島 吉 岐・対馬	やや不良	やや短い	やや少ない	
	やや不良	やや短い	やや少ない	
	平年並み	平年並み	平年並み	
	平年並み	やや短い	やや多い	
	平年並み	やや短い	平年並み	
熊 本 県 北 阿 蘇 南 南 天 草	やや不良	やや短い	やや少ない	
	やや不良	やや短い	やや少ない	
	やや不良	平年並み	やや少ない	
	やや不良	やや短い	やや少ない	
	平年並み	平年並み	やや多い	
大 分 北 部 湾 岸 南 部 日 田	やや不良	やや短い	やや少ない	
	やや不良	平年並み	やや少ない	
	やや不良	やや短い	平年並み	
	平年並み	やや短い	平年並み	
	やや不良	やや短い	少ない	
宮 崎 広 域 沿 海 広 域 霧 島 西 北 山 間	やや不良	短い	やや少ない	
	やや不良	やや短い	やや少ない	
	やや不良	短い	やや少ない	
	やや不良	短い	少ない	
鹿 児 島 薩 摩 半 島 出 水 薩 摩 伊 佐 始 良 大 隅 半 島	平年並み	やや短い	平年並み	
	やや良	平年並み	やや多い	
	平年並み	やや短い	平年並み	
	平年並み	やや短い	平年並み	
	平年並み	平年並み	平年並み	

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植え及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
 2 田植期及び出穂期の「始期」、「最盛期」及び「終期」の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないためです。
 3 生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況及び一部のほ場における計測可能な穂数、もみ数等の計測結果等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではありません。
 4 早期栽培等の地域は、従来、作況指数で公表していたが、本年は、収穫が遅れ、台風第4号の影響により乳白米等の登熟障害が例年になく多発している地域があり、収穫量に含める品位(飯用に供し得るもの)について、精査する必要があることから、現段階では作柄の良否による公表としました。

【調査の仕様】

- 1 調査の目的
本調査は、作物統計調査の作付面積調査及び水稲調査の中の作柄概況調査として実施し水稲の作付面積、生育・作柄概況を明らかにすることにより、生産対策、技術指導等の農林水産行政推進のための基礎資料とする事を目的としています。
- 2 調査の対象
九州における早期栽培の調査対象県は、8月中旬頃までに刈り取りが、おおむね終了する早期栽培の面積割合が3割以上を占める宮崎及び鹿児島を対象としています。
- 3 調査期間
8月15日現在で水稲の生育・作柄概況を調査しました。
- 4 調査方法
調査は、作況標本筆、基準筆及び被害調査筆に対する職員による実測調査及び巡回調査により取りまとめました。
- 5 調査客体数
作況標本筆：1,495筆 作況基準筆：151筆 巡回・見積り：258市町村
- 6 用語の解説
「穂数の多少」は、1㎡当りに出穂したすべての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
「1穂当たりもみ数の多少」は、1穂についているすべてのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりのすべてのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表しています。
「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表しています。

多 少	少 ない	や や 少 ない	平 年 並 み	や や 多 い	多 い
対 平 年 比	94% 以下	95 ~ 98%	99 ~ 101%	102 ~ 105%	106% 以上

上記の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較です。

表1の早期栽培水稲の作柄概況で用いた表示区分は次のとおりです。

作柄の良否	著しい不良	不 良	や や 不 良	平 年 並 み	や や 良	良
対 平 年 比	90 以下	91 ~ 94	95 ~ 98	99 ~ 101	102 ~ 105	106 以上

- 7 利用上の注意
本調査（8月15日現在）は、その後の気象が平年並みに推移するものと仮定しています。したがって、今後の気象条件により変動することがあります。

【関連リンク】
九州農政局ホームページ > 農林水産情報 > 農林水産統計
http://www.kyushu.maff.go.jp/toukei/ht_all.html

九州農政局ホームページアドレス
<http://www.kyushu.maff.go.jp/>

問い合わせ先

本統計調査結果について
連絡先：九州農政局 統計部
 生産流通消費統計課 生産統計第2係
電 話：(代) 096-353-3561 内線 4754
直通電話： 096-353-7574

農林水産統計全般について
連絡先：九州農政局 統計部
 統計企画課 企画第2係
電 話：(代) 096-353-3561 内線 4723
直通電話： 096-353-7556

